

広島大学・広島市立大学・広島工業大学
「情報医工学プログラム FD・SD研修会」での講演について

広島大学が代表校である平成21年度「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」「医療・情報・工学連携による学部・大学院連結型情報医工学プログラム構築と人材育成」においてFD・SD研修会が平成22年9月17日（金）に広仁会館大会議室で開催され、本取組みの状況を報告する機会を得た。当該研修会は、前期授業の評価、後期への課題と研究発表会をテーマとし、対象は実施校である広島大学、広島市立大学、広島工業大学の教職員・学生であった。

情報医工学連携支援事業運営センターの安井 弥 副センター長の司会で始まり、同センターの小林正夫 センター長（広島大学大学院医歯薬学総合研究科長）から、研修会の目的などが説明された。

その後、当機構の取組み『「医工薬連環科学」教育システムの構築と社会還元 ～分子から社会までの人間理解～」について次の点に留意しながら説明した。

1. 本取組みの概要を、3つの取組み目標に沿って説明
 - ①教育課程の構築
 - ②教育支援システムの構築と教育環境の整備
 - ③地域への社会還元
2. 実施組織である医工薬連環科学教育研究機構の組織説明を行い、三大学の協力体制を説明
3. 研修会のテーマが教育効果の評価についてであるので、取組み①について重点的に説明
4. 特に、単位互換科目の紹介と、単位互換方法・成績評価方法などについては詳細に説明
5. 取組み②では、テレビ会議装置を利用した遠隔講義システムの概要を説明
6. 取組み③では、今回のテーマとは関連が薄いと考えられるため、連携内容のみを列挙

質疑応答では、

7. 単位互換に関する事項
8. 既存カリキュラムを活用する実施形態に関する事項

が論点となった。

次に、本研修会の主題である「前期授業の評価、後期への課題」について、実施校3校から

- ① 広島大学大学院医歯薬学総合研究科博士課程前期 木原 琢也君
- ② 広島市立大学情報科学部 坂本 信一君、三倉 将太君、森光 亮介君
- ③ 広島工業大学情報学部健康情報学科 村上 篤志君、半明 和樹君、瀧口 洋壽君

が受講学生の声として、

- 「専門用語集」の編纂
- 工学分野の学生からは、医学歯学分野での工学の応用についての疑問
- 掲示板の設置やオフィスアワー実施の検討
- e-Learning 運用上の問題点
- 講義内容と受講学生のバックグラウンドの乖離
- 教員が自校で学生を前にすることなく、他大学の学生へ向けて講義を配信するやり方についての運用上の問題
- 実習の実施について、事前オリエンテーションや受講学生の面接の必要性
- 学生だけでなく、教員に対しても機会を期待する声
- 先端医療設備の見学要請

などの要望や問題点が提示され、それぞれについて改善策が議論された。

さらに、「関節機能のFEM解析による診断・治療最適化システムの開発」と題し、デジタルソリューション株式会社 川岡 拓司 氏、西村 智 氏、腰本 尚武 氏による研究発表があり、教育に加えて研究に対するアクティビティーが披露された。

最後に、広仁会館中会議室において情報交換会・懇親会が行われた。特に、同様の教育プログラムにおいて対極的な実施手法を採用していることによる、相互の問題点や改善点について活発に意見交換を行った。